

ふるさと探訪

県指定重要無形民俗文化財（風俗慣習）

古殿八幡神社の流鏑馬・笠懸

保護団体 古殿町流鏑馬保存会

保護団体の住所 石川郡古殿町大字松川字新桑原三一一番地

所在地 石川郡古殿町大字山上字古殿六七番地

石川のペグマタイト鉱物 一括

県指定天然記念物（地質鉱物）

所在地

石川郡石川町字高田二〇〇番地の二
石川町立歴史民俗資料館

所有者

石川町・金内 勇・野木 ヨシ

石川町周辺には、今から約一億年

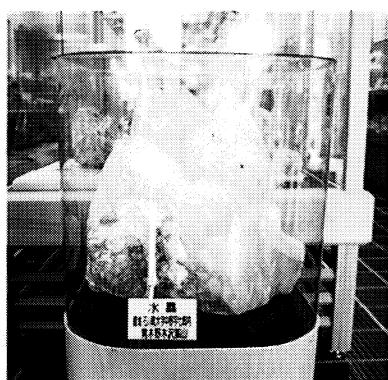
前の白堊期の新期複雲母花崗岩類に
ともなって形成されたペグマタイト

（巨麗花崗岩）が分布しています。岐

阜県の苗木と並んで日本で有数の鉱
物産地として知られてきました。

ペグマタイトとして最も普通に見
られるものとして、石英・長石類・

雲母類などですが、地殻中で存在量
の少ないウラン・リチウム・ベリリ
ウムなどの希元素鉱物もあります。



煙水晶ペグマタイト



流鏑馬

宵乗り、御伺向とお籠があります。

本祭りの早晩には大平川で素裸での
沐浴、水取り（馬の足洗いとも言う）、

祭典行列、獅子舞の奉納、笠懸（現在
は、宮司の家の千木（屋根上の両端

で交差している木）に向かって矢を
放つ）そして流鏑馬が行われます。

この流鏑馬で、ことに笠懸が行わ
れているのは当地だけであり、また

人馬の潔斎、人馬の神社参拝、お籠
りなどが古式に則つて伝えられて高

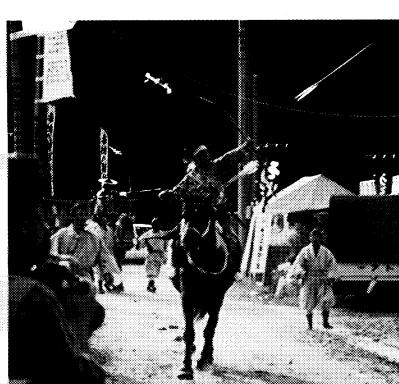
い価値を有するとして、平成七年三
月三十一日付けで県指定重要無形民
俗文化財に指定されました。

毎年、十月の第二土・日に行われ
ます。社伝によりますと、康平五年

当資料館には、石川町周辺に分布
するペグマタイトを構成する鉱物の
主要なものをほとんど網羅していま
す。特に五十cmを超える水晶や綠柱
石の結晶、十五～二十cmの電気石、
またモナズ石・コルンブ石などの放
射性的希元素鉱物など多様な鉱物

が保管され、学術的にも貴重である
として、平成七年三月三十一日付け
で県指定天然記念物に指定されま
した。

祭礼前日の宵祭りには、出陣式、
して領内の兵士に始めさせたと伝え
られ、推定ではありますが約八百年
も続いていると言われています。



笠 懸